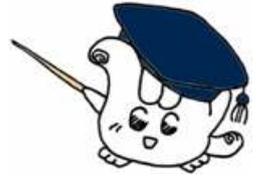


# 富通研への入会のご案内



～手話を学んでいる皆さんへ～

手話で話すことが楽しい！仲間が増えて嬉しい！など、手話を学んで感じることはたくさんあります。手話のことをもっとわかるために、その歴史や背景なども学びましょう。

私たち富山県手話通訳問題研究会は、学習会や交流会、班活動など、富山県内で手話を学ぶ仲間たちが集い、聴覚障害者と共に、地域に根付いた活動をしています。

>手話の技術や経験は関係ありません。私たちと一緒に学び合いましょう！<

## <富山県手話通訳問題研究会の主な活動>

- とみつつ講座（学習会） ●とみつつサロン（交流会） ●機関紙の発行（毎月1回）
- 専門班活動（医療班 ・ ろう教育班 ・ 登録通訳者班）
- 3団体合同学習会（富聴協・県サ連と合同） ●手話通訳者の健康に対する取り組み（富聴協と協同）

### 「富山県手話通訳問題研究会」

<http://www.tomitsuken.com/>

会員数は106人（2013年度）。全国手話通訳問題研究会（全通研）富山支部です。富山県内に在住・在勤・在学し、手話や手話通訳、聴覚障害者の諸問題に関心を持ち、本会の目的に賛同する方であれば手話の技術に関係なくどなたでも入会できます。

### 「全国手話通訳問題研究会」（全通研）

会員数は10,432人（2013年度）全国47都道府県に支部があります。

夏の全国集会、冬の討論集会などを開催しています。書籍、ビデオなどの販売をしています。



お申し込みは・・・ E-mail/[mail@tomitsuken.com](mailto:mail@tomitsuken.com)

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会

■あなたもぜひ、「富通研」へ

理事長 石倉義則



富山県聴覚障害者協会（以下、『富聴協』と略）は、今から約60年前に結成された「富山県ろうあ協会」を母体としています。結成以来、ろうあ者・聴覚障害者の人権啓発、福祉向上のための活動を行ってきました。

ろうあ者の言葉である手話は、今では広く社会に受け入れられるようになりました。長らく差別の対象で、社会から顧みられることの無かった手話。理解され、世に受け入れられるようになったのは、40年位前からです。国がろうあ者の手話に理解を示し、全国各地で「手話奉仕員養成講習会」が開かれるようになってからです。以来、多くの手話サークル・手話通訳者の誕生へと繋げて来ました。手話を学ぶ健聴者の方々には、ただの趣味・自己満足として手話を捉えて欲しくはありません。ろう者・聴覚障害者の生活や福祉、人としての権利、手話通訳制度化についても考えて頂きたいと思います。そのためには、「富山県手話通訳問題研究会（略称『富通研』）」への入会をお勧めします。

ろうあ者・聴覚障害者は「富聴協」へ、手話を学ぶ健聴者・手話通訳活動者は「富通研」へ。長らく、「車の両輪」の関係でろう者の福祉向上・手話通訳制度化のために、頑張ってきました。そしてこれからも。あなたもぜひ、「富通研」へ。

【 会員名簿 登録票 】

記入日 平成 年 月 日

ふりがな		生まれ年 (西暦) 年
会員氏名		
住 所	〒	
連絡先	電話 (自宅または携帯)	
	ファックス	
	PCメールアドレス *会員メーリングリストに登録される方のみ	
所属手話サークル		市町村 ( )

※この情報は、富山県手話通訳問題研究会会員管理の目的以外に使用することはいたしません。

※全通研本部会員登録のため①氏名②住所③年齢を報告することをご了承ください。

～企画・運営に反映させて頂きたく、アンケートにご協力ください～

1) 講座、学習会、イベントなど、参加しやすい日時に○を付けてください。(複数回答可)

日曜日午前 ・ 日曜日午後 ・ 土曜日午前 ・ 土曜日午後 ・ 土曜日夜  
平日午前 ・ 平日午後 ・ 平日夜

2) 講座、学習会、イベントなど、今後開催して欲しい場所・会場があればお書きください。

3) 次の企画について関心がある内容に○を付けてください。

①とみつつ講座 (情報・知識を広げる学習会)	ろう者対談    ろうあ運動・歴史    手話通訳者体験談 盲ろう者介助    健康    防災    その他 ( )
②とみつつサロン (会員の親睦会)	料理教室    物作り教室    茶話会・食事会 屋外イベント (バーベキュー等)    観光    その他 ( )
③スポーツ ・ レクリエーション企画	ボウリング    ゲートボール    パークゴルフ    ビーチバレー 富聴協と交流 (高齢部・女性部・青年部)    その他 ( )
④手話・活動を学ぶ学習会	読み取り学習    手話表現    その他 ( ) 全通研の活動    専門班活動 (医療・ろう教育・盲ろう者介助)